

# 令和3年度国際理解ワークショップ 進行シート

令和 3年 8月 16 日作成

大学名： 新潟県立大学

タイトル： NO MORE フードロス ～世界のしょくりょう問題について考えてみた～

## 1：本ワークショップの要旨

日本では身近に感じない「飢餓」などの食に関する問題を、ワークショップを通じて自分たちにも関係があるものだと知ってもらおう。身近に存在する「食べ残し」から、フードロスなどの問題に発展させ、世界の食の問題や、問題を改善するためのそれぞれの国の取り組みを紹介し、最後には自分たちには何ができるのかを考えてもらおう。全体を通してクイズを織り交ぜて、生徒たちが飽きずに楽しめるワークショップにする。タイトルの「しょくりょう」には、食料、食糧にとらわれず広い意味で問題を取り上げることがを意味している。

## 2：本ワークショップの目的(目標、実現したいこと)

このワークショップの目的は、世界の国々の問題だけでなく日本、または自分の生活の中で起きている食に関する問題を取り上げることで、自分に無関係なものではないということに気付いてもらう。また、国による解決策ではなく、自分でできる解決策を挙げることで、今後の生活でフードロスを減らすことを意識してもらおうと考える。

## 3：本トピックをとりあげる理由

現代日本は、「飽食」の時代である。様々な場面で食べ物の廃棄が起きていて、飢餓問題とは全く無縁の世界である。しかし、発展途上国では、飢餓等の食の問題が起きていて、我々よりはるかに幼い子供も亡くなっている。そんな世界の現状を知り、他人事ではなく自分事として捉えてもらいたいためこのテーマを取り上げたいと思う。

## 4 : 活動過程

(使用時間 : 110分 参加人数 : 約 50名)

過程 (所要時間)	活動内容	具体的な発問・ 説明・動きなど	ねらい	使用する 教材・備品	予想される反応、 その他注意事項
導入 : 起 ( 30 分) アイブレ 15分	世界の食べ物 に関するクイズ	最初に食べ物の イラストを見せて、どこの国の 食べ物か当てて もらう。	食に関する 楽しいクイズを行うこ とで、今回の 議題やワー クショップ に対する緊 張感をほぐ してもらう。	PC、プロジェ クター	リラックスしても らう。
導入 15分	食に関するイ メージや問題 を聞き出す。 フードロス、 飢餓について 知ってもら う。	①始めに個人で 指定のワークシ ートを用いて考 え、次にグルー プ全体で意見を 共有する。 ②フードロスの 定義を説明し、 日本のフードロ スの現状や日本 と世界における フードロスの実 態について確認 する。 ③ハンガーマッ プや食料援助量 の比較を示した グラフを提示 し、飢餓と食品 ロスが関係して	①現段階に おける生徒 の知識を確 認。 ②フードロ スについて 理解し、日本 や世界の現 状を知って もらう。 ③「飢餓」と いう視点か らフードロ スについて 考え、食品ロ スに対して 危機感を感 じてもらう。 そして、食品 ロスを身近	PC, プロジェ クター、ワー クシート、筆 記用具	考えることが難し い場合、ファシリ テーターがフォロー する。 生徒に発言する機 会を設け、飽きさせ ないようにする。 食品ロスに関して 偏った考えを持た ないように注意す る。

		<p>いることを確認する。</p> <p>④「世界がもし100人の村だったら 食べ物編」の一部を紹介し、別の角度から食品ロスを知ってもらおう。</p>	<p>に感じてもらう。</p>		
--	--	---	-----------------	--	--

<p>展開：承 ( 25 分)</p>	<p>飢餓やフードロスについて詳しく説明していく。ここで、世界の国々における食の問題に対する行動を深掘りする。</p>	<p>飢餓とフードロスが発生する原因を、環境的要因と社会的要因からそれぞれ対比しながら説明する。その際に私たちにとって身近な外食や中食におけるフードロスや、中国の食文化を取り上げ、フードロスの原因を様々な観点から考える。また、なぜフードロス削減が重要であるのかを飢餓や環境問題と結びつけながら説明し、各国がどのようにして飢餓やフードロスの問題に取り組んでいるのかを紹介する。</p>	<p>飢餓とフードロスがなぜ発生するのか、また、なぜそれらの問題に取り組む必要があるのかを理解し、私たちの身の回りや世界で起こっている食に関する問題に興味を向けてもらう。</p>	<p>PC, プロジェクター</p>	<p>一方的なレクチャーにならないように、生徒に対して問いかけを交えつつ進行する。</p>
-------------------------	---	---	---	--------------------	---

<p>発 展 : 転 ( 30 分)</p>	<p>フードロスが 起こりうる場 面を提示し、 それに対する 解決策を挙げ てもらう。</p>	<p>飲食店や、スー パー、家、学校 それぞれの場所 で起こりうるハ プニング、例え ば買いすぎによ って廃棄が生じ たなどを加え、 それらに対する 対処法を挙げて もらう。 まずは個人で考 えてもらい、次 に班で考えても らう。 最後に班で発表 してもらい、ど のくらい解決策 を出せたか確認 する。</p>	<p>フードロス に対してで きることを 考えてもら うことで、自 分たちにも できること があると分 かってもら う。</p>	<p>PC, プロジェ クター、紙ま たはホワイト ボード、筆記 用具</p>	<p>あらかじめメンバ ーを組んでもら う。(WSでの班)</p> <p>フードロスに対し て自分にできるこ とを意識してもら う。</p>
<p>まとめ : 結 (15 分)</p>	<p>今までの振り 返りと、自分 たちにできる ことを再確認 する。</p>	<p>今回のワークシ ョップの大事な 部分をかいつま んで伝える。 また、ワークシ ョップで学んだ ことや、食の問 題に対し感じた ことを書いても らう。</p>	<p>これからの 生活におい て、食品ロス を減らす行 動を意識し てもらう。 また、食の問 題を身近に 感じてもら う。</p>	<p>PC、プロジェ クター、紙、 筆記用具</p>	<p>振り返りの時は、 生徒に発言する場 も設ける。 食の問題をより身 近に感じ、自分た ちにできることを 意識する。</p>

### 5 : 新型コロナウイルス感染症拡大防止のための工夫や留意点

Zoom を利用し、対面を避けた。

生徒やファシリテーター同士の間隔を十分にとる。

## 6：会場のセッティング（対面の場合のみ）

## 7：使用する教材

特になし

## 8：参考にした資料

日本もったいない食品センター 「食品ロスの現状と世界との比較」  
[\\_\(\[mottainai-shokuhin-center.org\]\(http://mottainai-shokuhin-center.org\)\)](http://mottainai-shokuhin-center.org)

WFP ハンガーマップ 2020

<https://ja.wfp.org/publications/hankamatsufu-2020>

本「世界がもし100人の村だったら 食べ物編」

<https://magazineworld.jp/books/paper/1546/>

国際協力 NGO ワールド・ビジョン・ジャパン 飢餓の解決策は？飢餓の原因と現状を知ろう

[https://www.worldvision.jp/children/poverty\\_13.html](https://www.worldvision.jp/children/poverty_13.html)

JICA 『指標から国を見る —マクロ経済指標、貧困指標、ガバナンス指標の見方—』

[https://www.jica.go.jp/jica-ri/IFIC\\_and\\_JBICI-Studies/jica-ri/publication/archives/jica/field/pdf/200803\\_aid02\\_03.pdf](https://www.jica.go.jp/jica-ri/IFIC_and_JBICI-Studies/jica-ri/publication/archives/jica/field/pdf/200803_aid02_03.pdf)

農林水産省 外食・中食産業における食品ロスについて

[https://www.maff.go.jp/j/study/syoku\\_loss/03/pdf/data1.pdf](https://www.maff.go.jp/j/study/syoku_loss/03/pdf/data1.pdf)

渡邊里英 日本と真逆！？中国では料理を少し残るのがマナー

<https://www.olive-hitomawashi.com/column/2018/02/post-949.html>

日テレ NEWS24 中国食文化一変か「食べ残し」法律で禁止に

<https://www.news24.jp/articles/2021/04/29/10864690.html#:~:text=%E6%A7%98%E3%80%85%E3%81%AA%E5%8F%96%E3%82%8A%E7%B5%84%E3%81%BF%E3%81%8C%E9%80%B2%E3%82%80,%E4%B8%87%E5%86%86%E3%81%AE%E7%BD%B0%E9%87%91%E3%81%8C%E3%80%82>

農林水産省ホームページ食品ロスの現状を知る

[https://www.maff.go.jp/j/pr/aff/2010/spe1\\_01.html](https://www.maff.go.jp/j/pr/aff/2010/spe1_01.html)

## 9：その他

各校と相談し、年齢に合わせた内容にする。

各校の時間は、主に活動、レクチャー、まとめで時間調節を行う。

状況に合わせて休憩時間をとる。